

長井小学校区ハートフル・ミーティングの概要

- 1 開催日 平成 22 年 7 月 31 日（土）
- 2 場 所 長井公民館
- 3 参加者 44 人
- 4 会議の概要

○子育て支援・教育環境の整備

市民

今後の取組で大切なのは、地域の自立性の高い熊谷市を目指すことだと思います。そのためには、子どもたちが夢と希望を持てるまちづくり、あるいは安心して産み育て教育できる環境を整備することが目標になると思います。

先ほど子育て広場の増設の説明がありましたが、子育て広場は子どものためだけでなく、子育ての悩みを持った親の情報交換の場にもなるような施策の展開を図っていると思うのですが、非常に大事であると感じています。そこで、妻沼の子育て広場について伺いたいと思います。

市長

子育て支援拠点施設の整備は、県の要綱に基づき中学校の区域に一つずつ設置することを目標に実施しています。現時点で、17 ある中学校区域のうち16か所に設置しており、あと一つで目標が達成できます。来年4月には17か所目をオープンできるように頑張っていきたいと思っています。

子育て広場は、概ね3歳未満の子どもたちを対象にした施設です。妻沼には3か所ありますが、その一つは妻沼児童館を使って開設しました。公民館などを使っている場合は、1週間に3日で半日とか短い時間でやっていますが、そこは月曜日から金曜日まで午前午後使えますので、一番広くて遊ぶ道具もあって、大勢の方に利用されている施設です。

市民

前回、要望いたしました長井小の外トイレの改修につきましては、早速対応していただき、子どもたちも使いやすくなって大変喜んでおります。また、校舎の雨漏りの修理とか、外の段差のバリアフリー化ということで、早速スロープもつけていただきました。学校は子どもたちが長時間過ごす場所なので、安全で快適に使えることが一番重要だと思います。PTAといたしましても大変ありがたく思っております。今後も何かありましたら御配慮願えればと思います。

市長

前回、外トイレを男女別々に分けられればというお話がありまして、翌年

の3月にはきれいにできたと思います。限られた予算ではありますが、子どもたちの生活環境を良くするため、なるだけ使い勝手のいいように努力していきたいと思っております。

市民

この間、子どもたちと一緒に遊ぶために、西野の子ども会で竹馬づくりやベーゴマをしました。日常生活では広場や公園もないし、なかなか遊びづらいのです。大人はどうしたら子どもたちと外で遊んであげられるのか、その方法について教えていただきたいと思います。

市長

農作業中心の仕事であれば大人がいつも地域にいますが、今はそういう時代ではないので、日常的に子どもたちと遊ぶのが難しくなりました。でも、地域の皆さんが子ども会活動や学校応援団などを通じて、子どもたちと触れ合う時間をつくっていただくようお願いしていきたく思っています。地区によっては月に2回くらい、公民館を会場に子どもたちの勉強会などをやっております。

また、11月のフリースクールでは、地域の皆さんにも授業などに自由に入ってもらえますから、遠慮なく学校に来ていただいて、子どもたちの授業の様子などを見ていただくことも大切であると思っております。

教育長

放課後や土日にそれぞれの学校が、勉強に限らず放課後子ども教室を計画的にやってくれています。学校間で情報交換もしており、メニューも増えてくると思っておりますので、是非応援していただければと思います。

市民

自宅の裏が通学路になっていきますので、朝、時々子どもたちに声かけをしながら様子を観察しているのですが、今の子どもはあいさつも少なく元気がない感じがします。でも、私が声をかける前に、元気良く声をかけてくれる子どもも何人かいます。先ほどのお話のように、教育は家庭、学校、地域が全体で考えるべき問題だと思っております。

市長

声かけ、あいさつは大切ですが人それぞれの性格もあります。地域の話合いの場に行くと、朝、我々が一生懸命声をかけるのだけれども、返事がない子がいるという話を聞きます。でも、勇気づけてやることは大切です。もちろん地域だけではなく、家庭でもそういう習慣づけが必要です。学校では主体的にやってくれているので返事はすると思っておりますが、地域では人見知り

する子もいるかもしれませんが。しかし、朝の声かけは子どもたちにとって良い効果があると思いますので、粘り強くお願いいたします。

○安全と安らぎのあるまち

市民

学校の登下校について、上須戸地内は車の通りが激しくなり、通学路になっている県道弁財深谷線の潤友橋は狭くて危険なので、歩道の整備などの考えがありましたら聞かせていただきたいと思います。

市長

県道弁財深谷線を西城から福川を渡る橋が狭くて、また起伏が激しいものだから見通しが悪く、子どもたちが危険ではないかというお話です。

両側歩道は最低 13 メーターくらいないと今はつけませんし、まして橋となると相当お金もかかりますので難しいと思いますが、県には地域住民の声としてお話の趣旨を伝えておきたいと思っております。通学路としては何人かの中学生が自転車で通るということですので、該当する子どもたちにはもう一度安全確認の指導をするよう中学校に話をしたいと思っております。

市民

実は 6 月 24 日、地域の方から連絡があつて現場に行くと、旧福川が増水している状態でした。結果的には旧福川の排水機場の門扉が閉っており、川が増水してしまったのですが、原因は不明です。その時、職員には 4 人ほど来ていただいたのですが、操作できませんでした。

この地域は二十数年前に床上浸水など大変な被害を受けており、それで排水機場を設置していただいたのですが、その後適切に管理されて大事には至っておりません。でも、局地的な豪雨ですと大変危険です。万が一に備えての排水機場なので、職員への徹底を含め、適切な管理をお願いできればと思っています。

市長

適切な御連絡ありがとうございました。排水機場の管理は委託で行っておりますが、大変御迷惑をおかけして申し訳なく思っております。

このことは、委託業者が災害時の対応に備えて社内研修をした後、門扉を閉めたまま帰ったことが原因です。委託業者に対しては、今後同様なことがないように十分注意をいたしました。また、職員にも開閉操作ができるように、年度初めには訓練をやっておりますが、徹底を図るとともに、もう一度出水期に実施するなど工夫させたいと思います。

市民

ミニ工業団地のところの道閑堀の橋から八ツ口に抜ける道路なのですが、通学路になっており、雨が降ると大量の雨水が溜まります。昨年の5月に要望しましたが、対策がとられていません。素人考えですが、水の溜まるところにマンホールをつくり暗渠で排水すれば、そんなに予算もかからない工事だと思いますので、担当者に検討していただきたいと思います。

それから、お寺の土地を借りている消防小屋の件で、この問題が始まってから3年経っております。是非市で消防小屋の撤去工事をしていただきたいと思っております。

市長

熊谷市ではこの件に限らず、道路整備等の際には評価システムを導入しており、A B Cのランク付けと点数化による優先順位を決め、地域のバランス等も勘案しながら実施しております。

御提案の工法は、果たしてそのように簡単に済んで永続性があるかということもありますので、担当の方で研究させていただきたいと考えます。

それから、昔の自警団の消防小屋の件ですが、撤去する方向で消防本部も考えているようです。ただ、産業廃棄物ですから、取り壊しの費用よりも処分費にお金がかかるため、皆さんが思っている以上にお金がかかります。ですから、23年度当初予算で取り組めれば良いなと思いますので、前向きに検討していきます。

市民

長井小の東側に旧福川の遊水地があり、その付近で子どもたちが良く遊んでいます。水が溢れた時はかなり危険なのです。だから、子どもが遊んでいるのを見かけると注意するのですが、草が伸びていては見通しも悪いので、草刈をしていただきたい。

市長

管理の状況について詳細がわからないので、妻沼行政センターの産業建設課に良く調べさせて、またお話ししましょう。

なるだけ回数を多くやれば良いのですが予算の関係があります。これは市に限らず、国も県も予算が少なくなってきたので、福川の堤防なども今まで3回刈っていたのが2回になるなどだんだん回数が少なくなっており、そうなるとうやはりタイミングの問題なのです。

市民

家の前に道閑堀がありますが、草がものすごく伸びたので行政センターに

話したら、次の日に土手の平らなところだけ刈ってくれました。私はそこに40年近く住んでおり、年に2・3回刈っていると思うのですが、今年はようやく刈り始めたのです。何か今年は時期が遅いような感じがします。川で子どもが遊ぶものですから、学校が休みになると特に危険なので、早くやってもらえればと思います。

市長

担当の方で良く調べるとともに現場を良く見させます。

全体的な管理費が抑制されている中、道路の草刈等の延長が伸びているため、回数を減らした結果タイミングが合わなくなってしまうのです。それで、子どもの夏休み前に仕事が集中するとバランスが悪くなり、適切な時期にうまく作業ができなくなるという御指摘なのだろうと思うのです。

市民

第二田島保育園の脇の団地に住んでいます。その保育園が新築された際、脇の道路側溝の蓋が40キロ近い大きな物に変わってしまいました。今まで団地では年2・3回、住民が側溝掃除をしています。その蓋が大きくなってしまい簡単に上がらないので、ここ3・4年側溝掃除ができません。住民も皆60歳以上になっていて力がなく、その蓋が掃除の支障になっています。

そこで、側溝の蓋を部分的にグレーチングにしてもらえば、毎年の掃除ができると考えているのですが、御検討いただければありがたいと思います。

市長

妻沼行政センターの産業建設課に良く調べさせます。

市民

今、熱中症が問題になっているのですが、熊谷地区において、熱中症で倒れたり、亡くなったりしている人がどのくらいいるのでしょうか。

市長

28日現在で56件です。熊谷市内で残念ながら亡くなられた方が6人いて、屋内での死亡が多いのです。市では熱中症予防を呼びかけるため、防災行政無線の放送回数増加、青色回転灯のパトカーの巡回、チラシの市報同時配付、また、JAへ農家向けチラシの配付協力の依頼をしました。

私も農家なのでわかるのですが、朝飯前にひと仕事と言って出るので、だいたい朝出かける人は御飯も食べていないし、水分もとっていません。今は日の出前であっても、最低気温が26度とか27度あります。それで作業しますから、熱中症になってしまうのです。皆さんも是非気をつけてください。民生委員さんも、特にひとり暮らしの方には是非繰り返しお話をさせていただく

ようお願いします。

○市長のまとめ

貴重な時間をいただきまして本当にありがとうございました。色々な御要望等を頂戴いたしました。難しいなと思うものも正直あるのですが、対応できるものについては一生懸命頑張っていきたいと思っています。

先ほど学校の外トイレの話をされましたが、その時にシスコ脇の信号機設置の話も出たのです。警察への交渉はしているのですが実現には至っていない中、その安全対策として、市道を緩やかなものに打ち換えたり、あるいはベンガラ舗装にしたりしています。そういった対策の効果ができればいいなと思っているのですが、事故が発生してしまい憂慮しております。引き続き、警察にお願いしていきたいと思っています。

いずれにいたしましても、今年の秋になりますと合併して5年になります。合併後に変わった仕組みが、概ね認められてきたという感じもします。こうした形で皆さんの意見をお伺いしながら、より一層良いまちになるようにお互いに力を合わせ、努力していく気持ちを高め続けていきたいと思っていますので、今後とも御指導いただきますようお願い申し上げます。

それでは貴重な時間をいただきましたことに心から感謝申し上げながら、熱中症には十分御注意をいただきますようお願いをして、まとめのあいさつとさせていただきます。